

胃内視鏡検診受診者における「胃炎の京都分類」から見たヘリコバクター・ピロリ感染動態に関する研究

(承認番号:2977)

1. 研究の対象

2015年3月～2017年12月までに胃内視鏡検診を受けられた方

2. 研究目的・方法

2015年に公表された「有効性評価に基づく胃がん検診ガイドライン」では、胃内視鏡検査が胃X線検査と同様に胃がん検診として推奨されました。現在、胃内視鏡検査には胃がん診断の他、ヘリコバクター・ピロリ感染胃炎の有無とそれに伴う胃がん発生のリスク評価が求められています。内視鏡的胃炎分類として近年提唱された「胃炎の京都分類」は内視鏡所見からピロリ未感染、現感染、既感染（除菌治療後）の3つの感染動態に分類でき、今後普及する胃内視鏡検診において有用性が期待されています。2015年3月～2017年12月までに胃内視鏡検診を受けられた方を対象に「胃炎の京都分類」に準じた内視鏡所見を後ろ向きに調査し、ピロリ感染動態および胃がんリスクを検討し、今後の経過観察に活用させていただきます。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：胃内視鏡検査データ 等

4. 外部への試料・情報の提供

外部への試料・情報提供は行いません。

個人情報 は当センターの個人情報管理者が厳重に保管・管理します。

5. 研究組織

研究代表者：川崎医科大学健康管理学 鎌田 智有

研究分担者：川崎医科大学健康管理学 高尾俊弘

川崎医科大学消化管内科学 塩谷昭子

川崎医科大学消化管内科学 村尾高久

川崎医科大学総合内科学2 河本博文

川崎医科大学総合内科学2 春間 賢

川崎医科大学総合内科学2 末廣満彦

川崎医科大学検査診断学 眞部紀明

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

住所：岡山県岡山市北区中山下 2-6-1

電話番号：086-225-2111（内線 85331）

担当者：健康管理学 鎌田 智有（研究責任者）

7. 利益相反

この研究課題を実施する関係者には、田辺三菱製薬株式会社、ゼリア新薬工業株式会社、コヴィディエンジャパン株式会社、武田薬品工業株式会社、第一三共株式会社、大塚製薬株式会社、EA ファーマ株式会社、中外製薬株式会社、MSD 株式会社、アッヴィ合同会社、大日本住友製薬株式会社から奨学寄付金の受け入れがあります。また、第一三共株式会社、アストラゼネカ株式会社、武田薬品工業株式会社、大塚製薬株式会社、ガデリウス・メディカル株式会社、アステラス製薬株式会社からは個人収入の受け入れがあります。その他の受け入れは、公益財団法人中国労働衛生協会（研究助成金）、アッヴィ合同会社（製造販売後調査）があり、利益相反委員会にこの内容を申告し、適正に管理されています。